

第41回

# ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



図画1部

●山形県知事賞●

「お米が大好き」

高畠町立和田小学校3年

鈴木 大智 さん



平成29年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部



## ◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会会長 長澤 豊 ..... 1

## ◆第41回「ごはん・お米とわたし」作文・图画コンクール入賞一覧 ..... 2

### ◆图画部門

#### 图画1部／全国優秀賞・山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 3

#### 图画2部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 4

#### 图画3部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 5

### ◆作文部門

#### 作文1部／全国優秀賞・山形県知事賞 ..... 6

山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 7

#### 作文2部／全国優秀賞・山形県知事賞 ..... 8

山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 9

#### 作文3部／全国優秀賞・山形県知事賞 ..... 11

山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 13

### ◆審査講評

#### 作文部門審査講評 天童市立山口小学校校長 青柳由起子 ..... 15

图画部門審査講評 天童市立第一中学校校長 原田寧 ..... 16

## ◆第30回～第41回 入賞一覧 ..... 17

## ◆審査経過の概要 ..... 19



## ごあいさつ

### 山形県農業協同組合中央会

会長 長澤 豊

第四十一回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稻作農業、「ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五一年度からこのコンクールを実施しており、今年度で四十一回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文四一〇点、図画八八九点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールでは、作文部門一部、二部、三部および図画部門一部で優秀賞を受賞する成績を收めました。これもご指導いただきました学校の先生方をはじめ、「ご父兄の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、家族と農作業する様子や、収穫し食べる喜びや笑顔をいきいきと表現したものなど、個性豊かですばらしいものばかりでした。「ごはん食や農業の果たす役割の大きさやありがたさが素直に表現されておりました。心に響く作品が多く、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感したところです。

どうか皆さん、普段何気なくごはんを食べることができる幸せを忘れないでください。お米を作る苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを大切にしてください。そして、自然や生き物すべての命を大切にする心を、いつまでも持ち続けてください。

現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国から輸入しています。食料自給率は三九%と、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率向上させることが大事なことだと考えています。そのためには、農業の多面的な機能を大切にすることや食料安全保障を確保することなど、「多様な農業の共存」が国際的に認められることが必要であります。

私たちJAグループは、本県の基盤産業である農業・農村を支える多様な農業者と、皆さんのよりよい暮らしのお役に立てるよう、引き続き運動に取り組んでまいります。

また私たちJAグループは、これから日本人にとって「よい食」とは何かを考え行動する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、地場産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大、学校給食における安全・安心な農畜産物の提供や食農教育の推進に向けた取り組みに、今後一層努力してまいります。平成二二年にデビューした「つや姫」も、今年で八年目を迎え、皆さんにとつてお馴染みのお米となつことと思います。また、「つや姫」に続いて、今年秋には「山形112号」のデビューが予定されています。私たちJAグループは、これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、応援をよろしくお願ひいたします。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆様からのご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

# 第41回「ごはん・お米とわたし」

## 作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

### 全国審査における入賞者

#### ○全国優秀賞

(作文 1 部)	野川 裕太	米沢市立南部小学校	3年	(作文 2 部)	高橋 悠太	天童市立津山小学校	5年
(作文 3 部)	佐藤 百華	米沢市立第四中学校	3年	(図画 1 部)	鈴木 大智	高畠町立和田小学校	3年

### 山形県審査における入賞者

#### 作文部門

#### 図画部門

##### ●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	野川 裕太	米沢市立南部小学校	3年
山形県農協中央会会長賞	木内 春陽	東根市立大森小学校	3年
優秀賞	鈴木 あこ	庄内町立余目第二小学校	2年
	安部くるみ	米沢市立興譲小学校	2年
	加藤 翼沙	高畠町立高畠小学校	2年
	柴崎 皓大	最上町立向町小学校	3年
	堀川 遙	天童市立荒谷小学校	3年

##### ●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	高橋 悠太	天童市立津山小学校	5年
山形県農協中央会会長賞	伊藤 柚葵	天童市立山口小学校	5年
優秀賞	大場新之助	最上町立向町小学校	5年
	伊藤 楓華	天童市立山口小学校	4年
	大類 渚	天童市立津山小学校	5年
	佐藤 里菜	米沢市立塩井小学校	6年
	小野 海咲	最上町立大堀小学校	6年

##### ●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	佐藤 百華	米沢市立第四中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	松本 季子	米沢市立第二中学校	1年
優秀賞	高橋 夢月	米沢市立第二中学校	3年
	山木 穂	米沢市立第一中学校	1年
	竹田 勇貴	米沢市立第一中学校	2年
	鈴木 里桜	米沢市立第六中学校	1年
	舟山 楓夏	山形市立第十中学校	1年

##### ●学校奨励賞

天童市立津山小学校  
米沢市立第二中学校

##### ●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	佐藤 龍心	鶴岡市立櫛引中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	村山 亜弥	山辺町立山辺中学校	3年
優秀賞	阿部 心暖	河北町立河北中学校	1年
	齋藤 香奈	山形市立金井中学校	2年
	齋藤 遥奈	山形市立金井中学校	2年
	石川 妃咲	山形市立金井中学校	1年

##### ●学校奨励賞

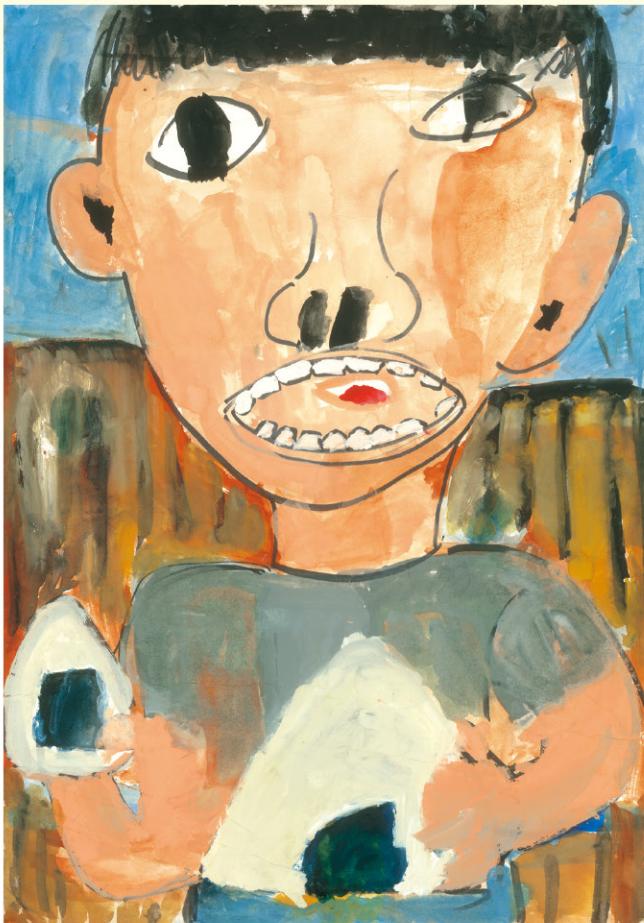
尾花沢市立尾花沢小学校  
山形市立金井中学校

●全国優秀賞・山形県知事賞●

「お米が大好き」

高畠町立和田小学校三年

鈴木 大智



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「カレーパーティー」

尾花沢市立宮沢小学校一年

安野 世那



●山形県知事賞●

「最高の食卓」

東根市立大森小学校六年

後藤 早希



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「田植え」

鶴岡市立京田小学校五年

渡部 蓮



●山形県知事賞●

「祖父との思い出」

鶴岡市立櫛引中学校三年

佐藤 龍心

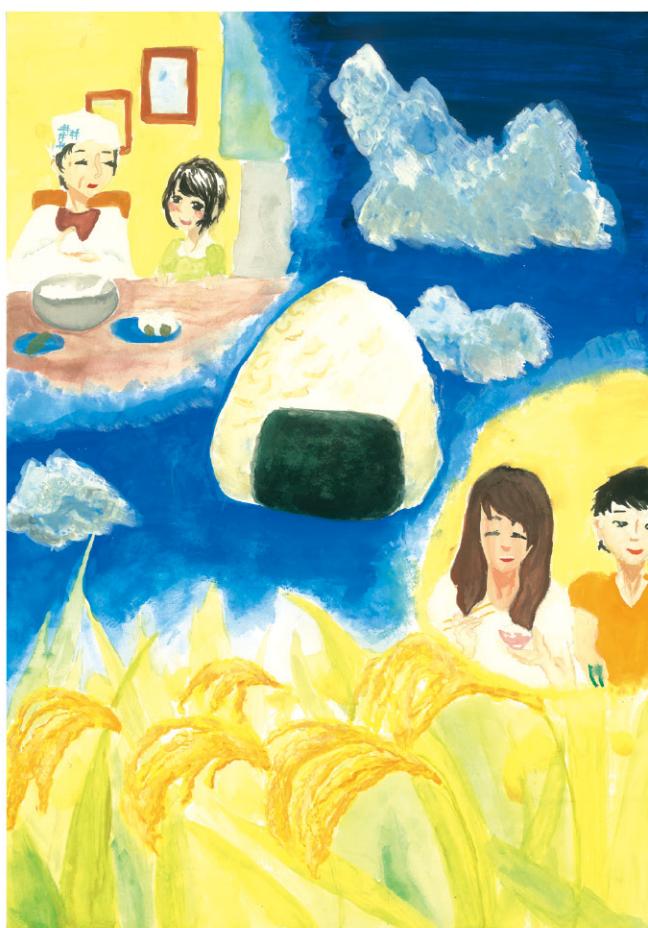


●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「田舎の恵み」

山辺町立山辺中学校三年

村山 亜弥



●全国優秀賞・山形県知事賞●

## ぼくの大好物ささみき

米沢市立南部小学校三年

野川 裕太

ぼくはささみきが大好きです。ささみきとはもち米を二まいのささでくるみ、いぐさでもすぶきよう土料理です。ささみきはおばあちゃんに教えてもらいました。さいしょは作つてもらつたのを食べるだけだつたけど年中のところから教えてもらひながら自分でも作るようになりました。今年は山へ行つてささもとりました。

今ささみき作りをする家は少なくなつているとおばあちゃんが言つていました。ぼくはささみき作りがなくならないように、自分で作れるようになつて、大人になつたときに子どもたちにつたえられるようにしたいです。

ささみき作りでむずかしいところは、いぐさをささにまきつけてむすぶところです。しつかりまきつけないと米がボロツととび出してしまうからです。

きよ年やおと年はうまくむすべなかつたけど今年はなかなか上手になりました。おばあちゃんにも「裕太上手になつたね。」と言われました。次に、もち米をつんだささみきを「はがま」とい

う大きななべで一時間ほどゆります。そして木のぼうに一時間つるしてささみきの出き上がりです。一つ一つ手でつんでいぐさでまいてゆでてつるすというのは、とても大へんだし手間がかかる作ぎようです。だからささみきは、とつてもおいしいのです。

# ●山形県農業協同組合中央会会長賞●

## お米のはじまり

東根市立大森小学校三年

木内 春陽

初めてお米のはじまりを見ました。はじまりは、平らな四角の土のはこでした。

「よいしょ、よいしょ。」

はこは、ちょっとぬれでいるので、重いです。まいづつ、どろの田んぼの中に運びます。転ばないようにはこを、お母さんにわたします。お母さんが、田んぼに土のはこをならべながら言いました。

「はるひ、力もち！ありがとう。」

わたしはうれしくなつて、何回もはこを運びました。もつともつとお手伝いをしたくなつて、どろの田んぼの中を走りました。おじいちゃんもうれしそうにしていました。そして、「これがお米になるんだよ。」と、教えてくれました。わたしはおどろきました。

このはこが、真っ白で、ふわふわのあの米になりました。なんて、 shinjiられませんでした。だつて、ただの土が入っているはこだからです。おじいちゃんが言いました。

「この土の中には、『もみ』という名前のお米の赤ちゃんがいて、この土がおふとんになるんだよ。赤ちゃんが大きくなると、『なえ』という名前の子どもになつて、田んぼに植えられるんだ。だからこのはこは、赤ちゃんを育てる大事なベッドなんだよ。」それを聞いたら、「このはこの赤ちゃんたちを大事に育てなきや。りっぱな子どもになつてほしい。」と、思いました。

「それならはるひが、お母さんだね。」と、わらつて言いました。「わたしのお母さんも、わたしのことをそんなふうに考えているのかなあ。」と、思いました。

お米のはじまりは、四角の土のはこでした。赤ちゃんの大好きなベッドでした。真っ白なふわふわのおいしいお米は、心をこめて、時間をかけて育てられていました。

●全国優秀賞・山形県知事賞●

## 大きく実れ！タンポポ米

天童市立津山小学校五年

高橋 悠太

ぼくたちは、お米を育てています。たんぽぽのよう元気に育てという意味を込めて、お米の名前は「タンポポ米」とつけました。

四ヶ月は田起こしや代かきをしました。「二十人でやるのだから絶対終わる。」

と、友達と話していましたが、何日やつても終わりませんでした。見た目は簡単でもやるとむずかしいと思いました。田んぼの先生や友達のお父さん、JAの人など、色々な方に手伝ってもらつて、どうにか田起こしと代かきを終えることができました。

田植えは、田植え定規でますをつけ、そこにはえを植えました。田起こしや代かきと比べるとかん单です。飛んできたなえが手前に落ちて服がどろだらけになつたり、足をとられて転びかけた

りしました。元気ななえが一面に広がると、田んぼはとてもきれいでした。元気に育つてほしいです。

ぼくたちは稻ブックを作り、当番で世話と観察することにしました。調べる内容は、水の深さ、気温、稻の本数、稻の長さや様子です。毎朝、朝の時間に調べたことをみんなに報告しています。

「水面にもみたいなものが浮かんでいました。」六月の終わりの朝、当番がそう報告しました。本当に緑色や茶色のもがいっぱいでした。ぼくは友達と一緒に一生けん命もを取りました。取つても次の日にはまた出できます。全員で取つてもダメでした。もがなえの成長を妨げると聞いて、びっくりしてJAに相談に行くと、水をぬくとよいことを教えてくれました。

中干しをすると、なえもすくすく育ちました。夏休みは、当番を決めてすることにしました。何よりうれしかつたのは、稻の花を見ることができたことです。葉から伸びた穂に白くて小さい花が、びつしり咲いていました。

「これからどうやってこの花がお米になるのだろう。

う。」と、わくわくしました。稻の花は二時間くらいしか見ることができないそうです。

二学期が始まり、ぼく達のタンポポ米もそろそろ収かくです。まだ、稻刈り、かんそう、脱こく、もみすり、精米が残っています。

これからがんばろうと思つたとき、大型台風、台風十号が東北地区に上陸するというニュースが流れてきました。「台風で、タンポポ米がなぎたおされてしまうかも。」と思い、一ばん中その事が頭からはなれませんでした。

よく日、稻が大じょう夫か心配でした。急いで田んぼを見に行くとタンポポ米は無事でした。ぼくは「ああ、良かつた。」と、胸をなで下ろしました。岩手県は、深こくなひ害を受けたそうですが、一生けん命育てた稻が、一しゅんでだめになつてしまふなんて。台風のこわさが、稻作りからもわかりました。

ぼくたちのタンポポ米は、だんだん黄金色になつてきました。もうすぐ稻刈りです。できたお米を食べるのが今からすごく楽しみでいろいろな料理法を調べていきたいです。

## ●山形県農業協同組合中央会会長賞●

### じいちゃんの米作り

天童市立山口小学校五年

伊藤 柚葵

三月、雪がとけてきたころじいちゃんの米作りが始まります。

はじめに、種もみを消毒して水につけるという作業をします。種もみとは、お米の種のことです。私は、「どうしてそんなことをしているの。」と聞きました。じいちゃんは、

「毎日の水温をたした温度が百二十度以上になると種もみの発芽率が高くなるからだよ。」と教えてくれました。発芽まで十五日から十八日かかるそうです。

四月の中ごろになると、は種という作業があります。は種とは、芽出しをした種もみを、土を入れた箱にまく作業です。この時は、ばあちゃんもお父さんも手伝います。近所のとし夫さん夫

婦も来て、朝五時くらいからやります。今年の米作りが決まる大事な作業です。良い苗を作るため、温度管理が必要で、毎日、朝と夕方にハウスの開け閉めをします。とし夫さん達も来ています。いろいろ話をしたり、時々お茶を飲んだりしながら作業をしています。この時期は、毎日大変そうですが、にぎやかで楽しそうです。

この地区には、田んぼを作っている人達の集まりで法人組合というものがあつて大きな機械で田おこしや代かきをやってくれます。ここでも共同作業で、米作りはいろんな人が関わっているんだと思いました。

五月の中ごろ、立派な苗が育ち、田植えが始まります。田植えは、じいちゃんとばあちゃん、今年は私も手伝いました。じいちゃんが機械で植えて、私とばあちゃんは手で植えました。初めてやつたのが三年生の時で、ぐちやぐちやになつてしまつたのを思い出しました。今年は上手に苗を植えることができました。腰が痛くなつたけど、じいちゃんに、「柚葵、ありがとな。」と言われてうれしかつたです。

九月の末になると、いよいよ稲かりです。稻かりも法人組合の人達にお願いしていて、だっこここまでしてもらいます。

こうしてできたお米で、収かくを祝い、お父さんがお祝いをにぎつてくれます。私達はそのお祝いを芳男ずしとよんでいます。ばあちゃんが絶みょうな味のすめしを作ってくれて、お母さんがネタを準備してくれます。弟のけいはまぐろが大好きで

「まぐろ一丁。」

と元気な声をはり上げます。お父さんは「へい、おまち。」

とみんなでとても楽しい一時です。じいちゃんもうれしそうに目を細めています。じいちゃんのお米は、はえぬきです。こんなにおいしいお米を毎日食べられて、私は幸せです。

全国でお米の消費量が減つている事を知りおどろきました。今から私達が、お米のおいしさやすばらしさをみんなに伝えていけたら、消費量も増えるのではないかと思いました。

## ●全国優秀賞・山形県知事賞●

### 米作りの大変さ

米沢市立第四中学校三年

佐藤 百華

私の家は農家で、毎年かかさずお米を作っています。そして、私の家では、家族全員で毎日おいしいご飯を食べています。そのご飯が食べられるのは、今年六十六才になる祖父のおかげです。祖父は家の田んぼを一人で管理して米作りをしています。今はちょうど出穂も終わり、刈り入れまでちょうどひとやすみの時期です。家の西側にある田んぼに行つてみると収穫間近の田園の風景が広がつています。夏の日射しの中、ぐんぐん伸びて、やがて九月の下旬には金色の稻穂になり、私達の食卓に上るでしょう。

私は、小学五年生の頃に、学校の授業でもち米作りを体験しました。最初は田植えから始まり、一つ一つの苗をみんなで丁寧に植えて

いきました。一定の間隔で、なるべく苗が曲がらないように植えていくのが大変でした。それにも長く腰を曲げての作業も、とても大変だと思いました。苗が育つと、稻刈りと脱穀の体験もしました。稻刈りでは、鎌を使つての作業でした。しかし、最初の頃は、鎌を上手く使う事が出来ず、手を切つてしまいそうで怖かったです。そして、稻を十束くらいずつまとめて、ひもで縛るのですが上手くまとまらず難しかつたし、運ぶ時も稻束が重く大変でした。そして、収穫したもち米を創立記念式の時に、自分達でついて、おもちにして食べました。田植えから始まり、いろいろな作業をしてやつと収穫したもち米について作ったおもちは、とてもおいしかつたです。自分達で頑張つて作ったお米だからこそおいしいおもちが出来たんだと思いました。この体験を通して、米作りの大変さを実感出来たし、苦労して作ったお米のおいしさも格別だと知り、私にとつて貴重な体験になりました。

私の祖父は、軽トラックや自転車で、頻繁に田んぼを見に行つてるので、何をしに行つ

ているのかと聞くと、「水の管理をしに行つている。」と教えてくれました。私達が実際に体験した田植えや稻刈りの他にも、常日頃のいろいろな作業がある事を知り、改めて米作りはいろんな人の手がかけられている事を学びました。

今の米作りでは、昔とは違つて、手作業ではなく、機械を使つた作業がほとんどになりました。昔よりも多くのお米を短時間で効率良く生産する事が出来るようになりました。米作りをしている農家の多くの人は、六十代以上がほとんどになつてるので、田植え、稻刈りなどの一つ一つの作業が、とても楽になつたと思います。

今の日本では、農業に携わっている人は六十才以上がほとんどです。いくら機械化されても、一年を通して米作りをしている祖父はとても大変だと思います。私達が、毎日食べてゐるおいしいご飯をあたりまえだと思わず、安全でおいしいお米を一生懸命作つてくれています。農家の方々や祖父に感謝したいと思ひます。

二〇一三年、日本の和食がユネスコの無形文化遺産に登録されました。和食の中心といえばご飯以外にありません。世界中の人に和食のお米のおいしさを味わつてほしいので和食の未来のためにも、私達のお父さんやお母さんの世代や私達の世代も米作りの仕方を祖父などから教わり、受け継いでいかなければならぬと思います。

祖父は今日も田んぼに行きました。夏の光を浴びた稻穂はずつしりと重く実をつけるでしょう。少し冷たくなつた風が、目の前に広がつてゐる稻穂を一斉に揺らして、波のようです。こ

の私達日本人の心に刻まれてゐる風景を次は父が受け継ぎます。田は先祖からずつと伝えられてきた大きな遺産です。米作りは私の家で大切に受け継いで、おいしいお米をいつまでも作つていきたいです。



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

思い出の端おにぎり

米沢市立第二中学校一年

松本季子

私は、小さい頃ご飯が嫌いでした。やわらかいパンが好きで、よくジャムを付けて食べてましたため、それに比べるとご飯はとても味気なく感じていたからです。それで、毎日のようにパンが食べたいと言つては、母を困らせていました。困った母は、私に何とかご飯を自分から食べさせようと、様々な方法を試しました。いろんな種類のふりかけで食べさせてみたり、ご飯を使ったチャーハンなどの料理を食べさせたりなど、あれこれ考えては挑戦していくたそうです。しかし、どれも途中で飽きてしまい、ご飯は嫌いなまでした。今となつては、とても申し訳なく思いますが、好き嫌いが多い性格だつたため、一度こうと決めるとなつかなか変われなかつたのです。そんな私が変

わつたのは、こんな出来事があつたからでした。

小学校低学年の頃、私は母に連れられて小野川へと行きました。そこでは、田んぼアートが開かれていました。田んぼには、たくさんのがいきました。私は、田んぼを見るのも田植えをするのも初めてだったので、少しづわくわくしてきました。それからまもなく、田植えが始まりました。田んぼの先生に田植えの仕方を一通り教えてもらつた後、おそるおそる泥の中に足を踏み入れました。泥はぬるつとしていて、始めは居心地が悪かったです。しかし、馴れるとひんやりしてとても心地良かつたです。いざ苗を植えてみると、予想以上に大変な作業でした。特に前かがみの姿勢がきついので、何度も立つて腰を真つ直ぐに直さなくてはなりませんでした。それでも、少しずつ丁寧にやつていたら、だんだんコツがつかめてきて、楽しくなりました。田んぼの先生にもほめてもらい、誇らしく思つたことを覚えていきます。田植えが終わつた後、田んぼにカエルが一匹いるのを見かけました。面白がって、他

の子たちと一緒にそのカエルを夢中になつて追いかけて、最後は転んで泥だらけになつて母に怒られました。それでも、とても楽しかつたです。その後は皆でおにぎりをいただきました。塩で簡単に味つけされただけなのに、とてもおいしく驚きました。食べながら、先生にお米に関するいろんなことを話していただきました。まだ幼くて難しい説明がわからないう私たちにも、ゆっくり、丁寧に教えて下さつて、本当にお米を大切にしていることが伝わつきました。

秋には、家族四人で田んぼへ行きました。一面黄金色の田んぼに綺麗に人の顔が浮かび上がり、自分たちの植えた苗がこんな風になるよう細かく計算させていたことに、とても感動しました。

稻刈りは、田植えの時よりも大変でした。一応やり方は教えていたのですが、やはりコツがあるようで、なかなか上手く斬ることができませんでした。それで、先にコツをつかんだ父に教わりながら、きちんと最後まで

斬る練習をしました。おかげで手や腕には切り傷がたくさんできましたが、稻刈りが終わる頃には一人前に斬ることができるようになっていました。また、刈った稻を積み上げる作業も手伝いました。その後、おにぎりをいただきました。前回と同じ味つけのはずなのに、何故かそれ以上においしく感じられました。この体験以来、私はご飯を積極的に食べるようになりました。米粒一つ残さず、なるべくよく噛んで米の甘みを味わうようにしています。

私が今好きな物は、塩おにぎりです。それは、祖母が心を込めて作ってくれたおにぎりを食べたからです。祖母は、私たち孫が集まる度におにぎりをたくさん作ってくれます。祖母が笑顔を浮かべながら、私たちを見守ってくれていると、どこか安心して、胸が温かくなります。いつまでも、祖母のおいしい塩おにぎりを食べたいです。

# 作文部門審査講評

天童市立山口小学校校長

由起子 青柳

第四十一回「ごはん・お米とわたし」作文コンクールには、全国の小・中学校から五万二千百十点もの作品が寄せられました。内、山形県では、七十五校から四百十点の作品の応募がありました。おにぎりや餅など伝統的な食文化に触れたものや、祖父母や父母、近所の人たちとの作業を通して見えてきた人との絆、稻作体験から学んだいのちを育てる感動等々、自分なりに感じ、気づき、考えたことを、みずみずしい筆致で記した作品が多くありました。それらの作品の中から、全国審査において三点が優秀賞を受賞され、県審査においては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の各賞が選考されました。ここでは、県知事賞、県農業協同組合中央会会長賞を受賞された皆さん的作品を紹介します。

喜びを生き生きと表現し、稻を大事にする気持ちはもちろん、広く農業に従事する方々の思い今まで考えている姿が浮かんできて、まさに生きた学びになっていることが伝わってきます。

## ○「じいちゃんの米作り」

(天童市立山口小学校五年・伊藤柚葵・山形県農業協同組合中央会会長賞)

早朝から働いては米作りの中心になつておるおじいさんの姿、そしておばあさんやお父さんはもちろん、隣近所や地区の方々との協同作業で進めている様子など、間近で見ておられるからこそ分かる米作りの苦労が素直に表現されています。おいしいお米は「共に働く農家のみなさんのおかげ」という感謝の気持ちや一緒に収穫を喜び合う様子が伝わってきて心が温かくなる作品です。

## 三部(中学生)

### ○「米作りの大変さ」

(米沢市立第四中学校三年・佐藤百華・山形県知事賞・全国優秀賞)

田の管理をしている祖父の姿から、農家の高齢化とそれに伴う苦労に言及し、毎日食べているご飯への感謝の気持ちを書き記しています。和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを挙げ、田は先祖からずっと伝えられてきた大きな遺産であるのにつまでも大切に受け継いでいきたいという決意で結んでいます。実りの秋を迎えた祖父の作る田の描写の美しさが胸を打ちます。

### ○「思い出の塩おにぎり」

(米沢市立第二中学校一年・松本季子・山形県農業協同組合中央会会長賞)

小野川での春の田植え体験と、人の顔が浮かび上がつて見える秋の「田んぼアート」を見た時の感動。手や腕に切り傷を作りながら挑んだ稻刈り後は、米粒一つ残さずよく噛んで、米の甘みを味わうようになります。最後は祖母の塩おにぎりを食べる喜びで締めくくっています。米作りを通じてご飯への思い入れを強くしていったことがよくわかる作品です。

## 一部(小学校一年生から三年生)

### ○「ぼくの大好物ささまき」

(米沢市立南部小学校三年・野川裕太・山形県知事賞・全国優秀賞)

ささまき作りは「大変で手間がかかるからこそおいしい」という言葉から、日本の伝統的な米文化に対する誇りと、それをしつかりと受け継いで後世に伝えていきたいという確固たる意思を感じさせる力強い作品です。おばあちゃんから褒めてもらつてうれしそうな様子に加えて、孫の成長を喜ぶおばあちゃんの優しいまなざしが目に浮かびます。

### ○「お米のはじまり」

(東根市立大森小学校三年・木内春陽・山形県農業協同組合中央会会長賞)

家族での農作業を一生懸命お手伝いする中で、種粒の入つた「四角い土の箱」は「赤ちゃんのベッド」であると感じた筆者。お米を大事に育てなければいけないことに気づいただけでなく、自分自身もお母さんからきっと大事に育てられたのだろうな、ということにも思いをはせておるところがすばらしい作品です。命の尊さや家族の温かさが伝わってきます。

## 二部(小学校四年生から六年生)

### ○「大きく実れ！タンポポ米」

(天童市立津山小学校五年・高橋悠太・山形県知事賞・全国優秀賞)

米作りのどの仕事をとっても簡単にはいかないことを体験し、専門家の知識を仰ぎながらクラスの仲間達たちと協力し合つて注意深く米を育て上げていく毎日を綴っています。自分達の米「タンポポ米」の育ちの

## 県学校奨励賞

### ○天童市立津山小学校

○米沢市立第二中学校

各賞を受賞されたみなさん、真におめでとうございます。

# 図画部門審査講評

原田寧 天童市立第一中学校校長

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールは、長い歴史を重ね、四十回を迎えました。今年度も県内一〇校から八八九点もの図画作品の応募がありました。

私たちが暮らす山形県には自慢のおいしいお米があります。それを生み出したのは、豊かに恵まれた自然環境と米作りに関する知恵、研究、努力が生んだ歴史と文化によるものです。でもお米のおいしさや、それをつくる農家の方のご苦労やありがたさはあまりにも当たり前過ぎて忘れてしまいがちです。この作品づくりや応募を通して、改めて「食」や「農」「米作り」へ思いを馳せ、描きたい主題を思い思いに表現してくれたことと期待しています。労働のあとやお祭りで家族と食べたおにぎり、カレーパーティーの喜び、学校でみんなと行つた田植えの風景など、様々な主題をもとに、子どもが素直に感じたうれしさや美しさなどの感動をのびのびと描いている作品にたくさん出会うことができました。

その中から、県審査では、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の選考を行いました。各賞を受賞されたみなさんの作品を紹介します。

## 一部(小学校一年生から三年生)

### ○「お米が大好き」

(高畠町立和田小学校三年・鈴木大智・山形県知事賞)

大きなおにぎりを両手に持ち、今まさに食べようとしている様子が生き生きと描かれています。画面の中で白いおにぎりがきわ立っています。大きな口をあけて、早く食べたい!という感じが伝わってきます。力強いタッチで、描きたいものをひと思いに描き上げています。

### ○「カレーパーティー」

(尾花沢市立宮沢小学校一年・安野世那・山形県農業協同組合中央会会長賞)

三人姉弟でしょうか。とてもおいしそうなカレーライスを前に、楽しくカレーパーティーをしている様子が伝わってきます。「おいしい!」という声が聞こえてきそうな作品です。細部まで丁寧に彩色し、全体に明るい色調でカレーライスを引き立てています。お米のつぶつぶまでしっかりと描いています。

## 二部(小学校四年生から六年生)

### ○「最高の食卓」

(東根市立大森小学校六年・後藤早希・山形県知事賞)

楽しい時間が流れています。細やかに物を見つめ、それを細部まで表現しています。お寿司やおにぎりを中心に、大勢で囲む食卓の様子が、この絵を見入るたびによく伝わります。

水彩絵の具の技法も見事で、混色や水加減を工夫して表現しています。ずっと見ていたくなるほど、にぎやかで楽しい絵です。

### ○「田植え」

(鶴岡市立京田小学校五年・渡部蓮・山形県農業協同組合中央会会長賞)

田の清らかな水の様子が伝わってきます。苗の葉それぞれに生命感のある筆づかいで表しています。また、苗の葉が混色や水加減により、生き生きと表現されています。その緑色と衣服の赤色との対比や人物の大小の変化により、動きが感じられる画面を構成しています。

## 三部(中学生)

### ○「祖父との思い出」

(鶴岡市立櫛引中学校三年・佐藤龍心・山形県知事賞)

初夏のある休みの日でしょうか。おじいさんの農業の仕事を手伝い、ひと休みしながら、二人でおにぎりをほおばっている場面を思い出して、力強い色彩と的確なデッサンで描いています。

青い空と白い雲、深みを増した山の緑、腰掛けた黄色いコンテナが夏らしい鮮やかな色彩効果を生み出しています。また、おじいさんと自分の表情が、労働のあととの爽快感や一人のふれあいの喜びを巧みに表現しています。ともに働きともにおいしいおにぎりを食べるひととき。おじいさんにとっても自慢の孫との忘れられない時間だったに違いありません。

### ○「田舎の恵み」

(山辺町立山辺中学校三年・村山亜弥・山形県農業協同組合中央会会長賞)

迫力ある構図に、元気に実ったお米が食卓に並び、人々の喜びや幸せにつながっていく様子が描かれています。濃い青色が画面を引きしめ、おにぎりを浮かび上がらせています。

## 県学校奨励賞

今年度の県学校奨励賞は、尾花沢市立尾花沢小学校と山形市立金井中学校が受賞しました。おめでとうございます。

「ごはん・お米とわたし」作文・图画コンクール

第30回～第41回 入賞一覧

作 文 部 門 図 画 部 門

第35回	第34回	第33回	第32回	第31回	第30回
<b>山形県</b> ●県知事賞 寺崎亞寿美(大石田町) 工藤 暢晃(庄内町) 小野 茜(朝日町)  ●県中央会会長賞 佐藤 流偉(鶴岡市) 菅原彩花里(鶴岡市) 菅井 澤(朝日町)  ●優秀賞 後藤 美空(米沢市) 菅原 菜央(鶴岡市) 鈴木 駿佑(大石田町) 會田 空翔(山形市) 鈴木 花凜(米沢市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 長沼龍之介(高畠町) 阿部 杏香(鶴岡市) 齐藤 健(真室川町) 齊藤 元希(大石田町) 小林 一樹(寒河江市) 井上 玲(米沢市) 大橋 鉄郎(米沢市) 坂野 凉子(米沢市) 江部ひふみ(米沢市) 香澤 佑樹(山形市)  ●学校奨励賞 大石田町立大石田小学校 朝日町立朝日中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 伊藤南奈美(鶴岡市) 難波 瑞(鶴岡市) 平山 美紀(山形市)  ●県中央会会長賞 今野 杏唯(鶴岡市) 菅 瑞季(最上町) 白石みおり(米沢市)  ●優秀賞 原田 真白(米沢市) 會田 空翔(山形市) 押切 真依(最上町) 後藤 大空(米沢市) 押野 明純(鶴岡市) 高橋 歩美(高畠町) 長沼龍之介(高畠町) 阿部 杏香(鶴岡市) 齐藤 航大(高畠町) 齊藤 元希(大石田町) 近藤 舞(鶴岡市) 山下 純平(最上町) 遠藤 ゆい(鶴岡市) 渡部 加菜(米沢市) 坂野 凉子(米沢市) 山口 大智(南陽市) 我妻 隆羅(米沢市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 押野 明純(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 有賀この美(鶴岡市)  ●県中央会会長賞 會田 空翔(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 我妻 隆羅(米沢市)  ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市) 井上 秀香(真室川町) 山口 まの(鶴岡市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 渡部 寿彦(鶴岡市) 黒井 紀香(鶴岡市) 瀬川 隼矢(庄内町) 金野 華奈(鶴岡市) 保科 扱也(鶴岡市) 尾形 有生(米沢市) 進藤小百合(米沢市) 小野寺奈々(鶴岡市) 安達 景都(鶴岡市) 小野寺千尋(鶴岡市) 山口 大智(南陽市) 久保 朝香(米沢市) 小野寺陽奈(鶴岡市) 佐藤 理奈(山形市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 瀬川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市)  ●県中央会会長賞 後藤 怡(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市)  ●優秀賞 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 誠(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 引地加奈恵(最上町) 齋藤 央奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 爰実(南陽市) 小野寺千尋(鶴岡市) 橋本明香里(山形市) 伊藤 香理(鶴岡市)  ●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清士(米沢市) 大道寺 澄(米沢市)  ●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市)  ●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 後也(鶴岡市) 情野 雪海(高畠町) 金野 華奈(鶴岡市) 渡部 実佳(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 遠藤 扱実(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 祐佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 那須友賀子(山形市) 後藤 萌(鶴岡市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)  ●県中央会会長賞 後藤 剛(高畠町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)  ●優秀賞 渡部 由夢(高畠町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 斎藤 莲奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高畠町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)  ●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校
<b>全国</b> ●文部科学大臣賞 瀬川 隼矢(庄内町)  ●農林水産大臣賞 石森 泉(鶴岡市)  ●学校奨励賞 庄内町立余目第四小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校	<b>全国</b> ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立西郷小学校  ●優秀賞 白石みおり(米沢市) 平山 美紀(山形市)	<b>全国</b> ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校  ●優秀賞 佐藤 楓(鶴岡市)	<b>全国</b> ●文部科学大臣賞 金野 華奈(鶴岡市)  ●全国中央会会長賞 高橋 理久(村山市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校  ●優秀賞 佐藤 楓(鶴岡市)	<b>全国</b> ●優秀賞 大池 清士(米沢市) 大道寺 澄(米沢市)	<b>全国</b> ●内閣総理大臣賞 伊藤 浩司(鶴岡市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校  ●優秀賞 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)
<b>山形県</b> ●県知事賞 柴崎 真人(最上町) 森谷 康平(山形市) 原田 拓夢(山形市)  ●県中央会会長賞 加賀 悠大(鶴岡市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 荒井瑳絵子(山形市)  ●優秀賞 高橋 龍馬(大石田町) 鈴木 来春(尾花沢市) 笛原 実莉(尾花沢市) 五十嵐一樹(尾花沢市) 西塚 優太(尾花沢市) 星 竜成(米沢市) 佐藤 一貴(天童市) 五十嵐友寿(鶴岡市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 押野 尚道(鶴岡市) 大滝 日菜(山形市) 高橋 里沙(山形市) 吉田 心(山形市) 遠藤 千央(山形市) 鈴木 里奈(山形市)  ●学校奨励賞 鶴岡市立朝陽第二小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 丹波 優大(尾花沢市) 森谷 康平(山形市) 鈴木 智佳(山形市)  ●県中央会会長賞 菅 佑菜(最上町) 小幡 剛(尾花沢市) 武田可奈子(山形市)  ●優秀賞 伊藤日向子(鶴岡市) 廣瀬 佳那(尾花沢市) 平井 堅太(高畠町) 五十嵐一樹(尾花沢市) 西塚 優太(尾花沢市) 星 竜成(米沢市) 佐藤 一貴(天童市) 五十嵐友寿(鶴岡市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 押野 尚道(鶴岡市) 大滝 日菜(山形市) 高橋 里沙(山形市) 吉田 心(山形市) 遠藤 千央(山形市) 鈴木 里奈(山形市)  ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 阿部 篤(尾花沢市) 會田 次郎(山形市) 武田可奈子(山形市)  ●県中央会会長賞 菅野 嘸(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市)  ●優秀賞 島津 謙(高畠町) 加藤 翔龍(尾花沢市) 佐藤 愛竜(尾花沢市) 藤井美名保(尾花沢市) 西尾 文佳(尾花沢市) 佐藤 崇人(鶴岡市) 伊藤 陸(天童市) 佐賀井千里(鶴岡市) 高橋 捷(尾花沢市) 藤田 麗(鶴岡市) 今野杏有子(三川町) 前田 和哉(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 荒井瑳絵子(山形市) 佐藤 緑(山形市) 田中 敦子(山形市) 渡邊 千咲(山形市) 上林 穂未(山形市) 鈴木 里奈(山形市) 加地 明里(米沢市)  ●学校奨励賞 尾花沢市立明徳小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)  ●県中央会会長賞 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 森 瑠(山形市)  ●優秀賞 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紗(高畠町) 菅野 静香(尾花沢市) 香澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 萁(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市)  ●学校奨励賞 寒河江市立醍醐小学校 山形市立第六中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 會田 三郎(山形市) 今野 芙季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市)  ●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市)  ●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高畠町) 小黒 拓真(高畠町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 西塚 祐斗(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 扱也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市)  ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄子(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市)  ●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)  ●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笛原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 凉真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市)  ●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校
<b>全国</b> ●農林水産大臣賞 西田 知世(山形市)  ●学校奨励賞 山形市立第九中学校	<b>全国</b> ●農林水産大臣賞 會田 三郎(山形市)  ●学校奨励賞 山形市立南小学校  ●優秀賞 鈴木 智佳(山形市)	<b>全国</b> ●内閣総理大臣賞 栗野 梨恵(山形市)  ●学校奨励賞 山形市立第九中学校  ●優秀賞 會田 次郎(山形市)	<b>全国</b> ●農林水産大臣賞 會田 次郎(山形市)  ●学校奨励賞 山形市立南小学校  ●優秀賞 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)	<b>全国</b> ●農林水産大臣賞 須藤 明(山形市)  ●学校奨励賞 山形市立第九中学校  ●優秀賞 會田 三郎(山形市) 今野 芙季子(三川町) 小野寺百茄子(鶴岡市)	<b>全国</b> ●内閣総理大臣賞 三浦 潤平(山形市)  ●全国中央会会長賞 今野 桃子(山形市)  ●学校奨励賞 山形市立第九中学校  ●優秀賞 會田 次郎(山形市)

第41回	第40回	第39回	第38回	第37回	第36回
<b>山形県</b> ●県知事賞 野川 裕太(米沢市) 高橋 悠太(天童市) 佐藤 百華(米沢市) ●県中央会会長賞 木内 春陽(東根市) 伊藤 柚葵(天童市) 松本 季子(米沢市) ●優秀賞 鈴木 あこ(庄内町) 安部くるみ(米沢市) 中川 峻(南陽市) 木内 春陽(東根市) 加藤 翼沙(高畠町) 柴崎 皓大(最上町) 堀川 遙(天童市) 大場新之助(最上町) 伊藤 楓華(天童市) 大類 渚(天童市) 佐藤 里菜(米沢市) 小野 海咲(最上町) 高橋 夢月(米沢市) 山木 穂(米沢市) 竹田 勇貴(米沢市) 鈴木 里桜(米沢市) 舟山 楓夏(山形市) ●学校奨励賞 天童市立津山小学校 米沢市立第二中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 鈴木 佑佳(山形市) 佐藤虎太朗(真室川町) 吉田 ゆい(米沢市) ●県中央会会長賞 島腹 里玖(新庄市) 伊藤 晴夏(三川町) 山口 雅乃(鶴岡市) ●優秀賞 安部くるみ(米沢市) 後藤 天星(最上町) 中川 峰(東根市) 木内 春陽(東根市) 加藤 韶(大蔵村) 早坂 涼太(東根市) 川田 健太(新庄市) 笠原 莉玖(新庄市) 小下 健太(高畠町) 田中 空來(寒河江市) 佐藤 弥桜(鶴岡市) 庄司潤一郎(真室川町) 荒木 怜(最上町) 加藤 朱音(米沢市) 新野 涼香(川西町) 橋本 未句(米沢市) 高野穂乃花(山形市) 伊藤 寧音(山形市) ●学校奨励賞 新庄市立萩野小学校 米沢市立第二中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 門脇 陽希(大蔵村) 後藤 芽衣(河北町) 森村 春輝(山形市) ●県中央会会長賞 軽部 翔真(寒河江市) 青木 実央(新庄市) 留守めぐみ(米沢市) ●優秀賞 安部くるみ(米沢市) 後藤 天星(最上町) 中川 峰(東根市) 木内 春陽(東根市) 加藤 韶(大蔵村) 早坂 涼太(東根市) 川田 健太(新庄市) 笠原 莉玖(新庄市) 小下 健太(高畠町) 田中 空來(寒河江市) 丸山 美優(鶴岡市) 打田ゆらら(白鷹町) 荒木 怜(最上町) 八巻 怜花(米沢市) 山口 雅乃(鶴岡市) 鈴木 千絵(南陽市) 今野 佑香(米沢市) 高野穂乃花(山形市) 井上 砂城(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 山形市立第三中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 佐々木美耀(米沢市) 高橋満里奈(新庄市) 小野寺涼太(鶴岡市) ●県中央会会長賞 阿部 聖音(酒田市) 佐藤 礼夢(鶴岡市) 安部 優香(米沢市) ●優秀賞 上林 奈央(鶴岡市) 津藤 奏(山形市) 小野幸治郎(大蔵村) 早坂 大翔(大蔵村) 安部 真桜(米沢市) 田村 健人(米沢市) 諏訪 猛音(鶴岡市) 佐藤 光(鶴岡市) 池田 結(庄内町) 会田 空翔(山形市) 大滝 星矢(鶴岡市) 佐藤 光(鶴岡市) 伊藤 日高(鶴岡市) 伊藤 優太(山形市) 鈴木 千絵(南陽市) 高橋真惟子(南陽市) 石原 花凜(飯豊町) 清和 怜真(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 鶴岡市立朝日中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(山形市) 松寄 大吾(米沢市) ●県中央会会長賞 佐竹 巧(山形市) 笛本 悠奈(庄内町) 我妻隆太朗(米沢市) ●優秀賞 早坂 大翔(大蔵村) 朝倉 愛子(南陽市) 丸山 美優(鶴岡市) 渋谷 結(鶴岡市) 佐藤 光(鶴岡市) 池田 結(庄内町) 会田 空翔(山形市) 大滝 星矢(鶴岡市) 細矢 愛結(村山市) 矢萩 優生(村山市) 森 優奈(米沢市) 佐藤 みのり(庄内町) 齋藤 結月(鶴岡市) 須貝 麗夢(米沢市) 小野寺拓海(鶴岡市) 高内 淑奈(山形市) 井上 れな(鶴岡市) 遠藤 美月(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 五十嵐まりあ(山形市) 土門 匠(天童市) 早川 舞乃(山形市) ●県中央会会長賞 大滝 楓人(鶴岡市) 伊藤 瑞圭(鶴岡市) 阿部 咲輝(鶴岡市) ●優秀賞 森 壮汰(村山市) 安達 涼乃(大石田町) 阿部 夢叶(最上町) 横山 陽音(米沢市) 大滝 星矢(鶴岡市) 細矢 愛結(村山市) 矢萩 優生(村山市) 曾根 匠人(米沢市) 佐藤 亜美(鶴岡市) 渡部さくら(鶴岡市) 太田 里美(米沢市) 渡部 羅夢(鶴岡市) 森谷 咲耶(東根市) 舟山 愛理(米沢市) 中村梨恵子(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校
<b>全国</b> ●優秀賞 野川 裕太(米沢市) 高橋 悠太(天童市) 佐藤 百華(米沢市)	<b>全国</b> ●全国農業協同組合 中央会会長賞 後藤 天羽(最上町) ●優秀賞 吉田 ゆい(米沢市)	<b>全国</b> ●農林水産大臣賞 松浦栄一郎(庄内町) ●優秀賞 門脇 陽希(大蔵村) 後藤 芽衣(河北町) 森村 春輝(山形市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第一小学校	<b>全国</b> ●優秀賞 小野寺涼太(鶴岡市)	<b>全国</b> ●優秀賞 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(米沢市) 松寄 大吾(米沢市)	<b>全国</b> ●文部科学大臣賞 小林 千紗(高畠町) ●優秀賞 五十嵐まりあ(山形市) ●学校奨励賞 高畠町立第二中学校
<b>山形県</b> ●県知事賞 鈴木 大智(高畠町) 後藤 早希(東根市) 佐藤 龍心(鶴岡市) ●県中央会会長賞 安野 世那(尾花沢市) 渡部 蓮(鶴岡市) 村山 亜弥(山辺町) ●優秀賞 加賀山 蒼(鶴岡市) 三坂明日樂(尾花沢市) 山川 大翔(山形市) 石山 裕士(尾花沢市) 伊藤 愛陽(尾花沢市) 高橋 悠太(天童市) 菅野 柚杏(尾花沢市) 齋藤 美維(鶴岡市) 佐藤 陽菜(尾花沢市) 佐藤 樹杏(鶴岡市) 阿部 心暖(河北町) 齋藤 香奈(山形市) 齋藤 通奈(山形市) 石川 妃咲(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 熊谷飛悠吾(尾花沢市) 伊藤 拓磨(尾花沢市) 鎌田 龍也(山辺町) ●県中央会会長賞 金内 大和(鶴岡市) 鈴木 佑奈(大石田町) 伊藤 未希(尾花沢市) 工藤 千慧(山形市) ●優秀賞 石山 竜成(最上町) 松田 紗和(鶴岡市) 高橋 晴(最上町) 星 七菜子(新庄市) 伊藤 未羽(最上町) 柴崎 大和(尾花沢市) 齋藤 詩歩(鶴岡市) 原田 麗(尾花沢市) 大江 誉羅(尾花沢市) 稻村 大和(大蔵村) 田中 未咲(山形市) 石澤 元乾(山辺町) 田辺 理紗(飯豊町) 中島 彩(山形市) 佐藤 龍心(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 三嶋 優(尾花沢市) 佐藤ひより(山形市) ●県中央会会長賞 星川 椿(尾花沢市) 星川 椿(尾花沢市) ●優秀賞 星川 葵(尾花沢市) 原田 結奈(尾花沢市) 星川 椿(尾花沢市) 矢作 結萬(尾花沢市) 富樫 智花(山形市) 小野 慈和(尾花沢市) 齋藤 泰成(尾花沢市) 今野 泰成(尾花沢市) 五十嵐雄太(鶴岡市) 原田 麗(尾花沢市) 佐藤 夏都(鶴岡市) 稻村 心菜(尾花沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 阿部 大翔(尾花沢市) 二瓶 寛太(山形市) 平間 杏奈(山形市) ●県中央会会長賞 江刺さくら(尾花沢市) 早坂 美羽(尾花沢市) 本澤 育実(山形市) ●優秀賞 五十嵐羽琉(鶴岡市) 原田 結奈(尾花沢市) 星川 球(尾花沢市) 笛原 月吹(尾花沢市) 佐藤 愛心(村山市) 佐藤 なお(鶴岡市) 渡辺 成美(尾花沢市) 鈴木 来春(尾花沢市) 齋藤 亜子(尾花沢市) 五十嵐雄太(鶴岡市) 原田 麗(尾花沢市) 佐藤 夏都(鶴岡市) 稻村 心菜(尾花沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 押切 零旺(尾花沢市) 渡辺 成美(尾花沢市) 高橋 緹香(山形市) ●県中央会会長賞 渡會 圭悟(尾花沢市) 日下 和也(高畠町) 竹田夏奈子(山形市) ●優秀賞 三浦 匠悟(尾花沢市) 小林 由侑(尾花沢市) 伊藤 拓磨(尾花沢市) 西尾 真央(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 叶野 空和(鶴岡市) 長永 千佳(庄内町) 吉田京次郎(山形市) 本間 海成(尾花沢市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 三浦 幸司(尾花沢市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 進藤 円(山形市) 梅木 泉美(山形市) 高橋 真優(山形市) 横沢 美玖(山形市) 齋藤 光(南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校	<b>山形県</b> ●県知事賞 斎藤 匠(東根市) 溝越 真輝(尾花沢市) 大滝 日菜(山形市) ●県中央会会長賞 星川 悠人(尾花沢市) 小幡 あみ(尾花沢市) 半田さつき(山形市) ●優秀賞 越前 快斗(尾花沢市) 尾崎 李果(尾花沢市) 笛原 優極(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 宇田 竜健(庄内町) 東海林玲余(尾花沢市) 本間 海成(尾花沢市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 三浦 幸司(尾花沢市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 進藤 円(山形市) 梅木 泉美(山形市) 高橋 真優(山形市) 横沢 美玖(山形市) 齋藤 光(南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校
<b>全国</b> ●優秀賞 鈴木 大智(高畠町)	<b>全国</b>	<b>全国</b>	<b>全国</b> ●優秀賞 志田 葉月(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校	<b>全国</b> ●優秀賞 半田さつき(山形市)	

## 第41回

# 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

### ■応募数

作文：410点  
図画：889点 合計 1,299点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	124点	165点	121点	410点
図画部門	464点	361点	64点	889点

### 図画部門（3名）

審査委員長 原田 寧（天童市立第一中学校 校長）  
大内 孔司（山形市立南小学校 教頭）  
高内 啓子（山形市立滝山小学校 教諭）

### ■審査結果

#### (1) 全国コンクール（県内入賞者（校）数）

- ・優秀賞 作文部門3名  
図画部門1名

#### (2) 県コンクール

- ・山形県知事賞 作文部門3名／図画部門3名
- ・山形県農業協同組合中央会会長賞 作文部門3名／図画部門3名
- ・優秀賞 作文部門15名／図画部門14名
- ・学校奨励賞 作文部門2校／図画部門2校

### ■表彰式

期日：平成29年2月12日（日）

会場：山形市「山形国際ホテル」

### ■審査委員

#### 【県コンクール】

#### 作文部門（5名）

審査委員長 青柳由起子（天童市立山口小学校 校長）  
星 淳一（山形市立第十中学校 校長）  
石澤 友章（山形市立滝山小学校 主幹教諭）  
沼澤理恵子（南陽市立沖郷小学校 教諭）  
櫻井 真理（東根市立大富中学校 教諭）

年度	部門	1部	2部	3部	合計
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769
25 (第38回)	作文 図画	56 450	83 372	150 19	289 841
26 (第39回)	作文 図画	95 353	134 382	150 19	379 754
27 (第40回)	作文 図画	122 353	167 370	178 45	467 768
28 (第41回)	作文 図画	124 464	165 361	121 64	410 889

# ◆第41回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領◆

## 1. 趣旨

本コンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからのお食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食・稻作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稻作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施する。

## 2. 課題(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

## 3. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。  
特別支援学校の小学部、中学部。

## 4. 応募規格(枚数・大きさ)

### 【作文部門】

1部 小学校1年生～3年生(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

2部 小学校4年生～6年生(400字詰め原稿用紙3枚以内)

3部 中学校1年生～3年生(400字詰め原稿用紙4枚以内)

(注)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください。

(注)本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

### 【図画部門】

1部 小学校1年生～3年生

2部 小学校4年生～6年生

3部 中学校1年生～3年生

B3判、もしくは四つ切りの市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

## 5. 応募規則

- (1)課題にそった作品を対象とします。
- (2)他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3)ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。2点以上応募の場合は、2点とも審査対象外となる場合があります。
- (4)図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったものの)のものは応募できません。
- (5)学校で応募の際は、別添の推薦名簿(作文部門6ページ、図画部門7ページ)を切り取りもしくはコピーしたうえで記入し、必ず添付してください。コピーする場合は、必ずA4サイズでコピーしてください。
- (6)作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(5ページ)をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。  
①作品の題名②氏名・性別③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤本人の住所(郵便番号・電話番号)  
⑥JA(農業協同組合)名
- (7)全国コンクールの大賞および全国農業協同組合中央会長賞受賞作品は平成29年2月に返却予定です。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会および山形県農業協同組合中央会に帰属します。山形県コンクールの山形県知事賞および山形県農業協同組合中央会長賞受賞作品は、協同の杜「JA研修所」に1年展示後、平成30年2月上旬に返却予定です。
- (8)本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報は、承諾なく第三者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

## 6. 締切日

平成28年9月30日(金) ※必着

## 7. 全国段階との関連

- (1)県段階で予選審査を行い、各部門ごとに数点を全国コンクールに推薦します。
- (2)全国コンクール入賞作品以外(優秀賞除く)の作品を対象に、山形県コンクール審査を行い、山形県段階の入賞作品を決定します。

## 8. 審査員

### 【全国コンクール】

審査委員長 中村 靖彦 氏(東京農業大学客員教授、農政ジャーナリスト)

作文部門 真鍋 和子 氏((社)日本児童文学者協会理事、日本大学芸術学部 講師)  
森田 盛行 氏((公社)全国学校図書館協議会理事長)

図画部門 中川 李枝子 氏(児童文学作家)  
竹村 和子 氏((公社)全国学校図書館協議会常務理事)

西巻 茅子 氏(絵本作家)  
小柳津 須看枝 氏(日本美術家連盟会員、サロン・ド・トウキョー運営委員)  
岡村 泰成 氏(美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員)

〈幹事〉 中馬 誠二 氏(季風会同人)

## 【山形県コンクール】

県教育庁および小・中学校教員(作文部門6名、図画部門4名)

## 9. 審査基準

別添審査基準(作文部門3ページ、図画部門4ページ)による。

## 10. 賞

### 【全国コンクール】

(1)内閣総理大臣賞 作文・図画部門各1名——計2名  
賞状と副賞(記念盾およびお米券、記念品)

(2)文部科学大臣賞 各部門ごとに1名——計6名  
賞状と副賞(お米券および記念品)

(3)農林水産大臣賞 各部門ごとに1名——計6名  
賞状と副賞(お米券および記念品)

(4)全国農業協同組合中央会長賞 各部門ごとに1名——計6名  
賞状と副賞(お米券および記念品)

(5)優秀賞 各部門ごとに15名——計90名  
賞状と副賞(記念品)

(6)学校奨励賞 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校——計14校  
賞状

## 【山形県コンクール】

(1)山形県知事賞 各部門ごとに1名——計6名  
賞状と副賞

(2)山形県農業協同組合中央会長賞 各部門ごとに1名——計6名  
賞状と副賞

(3)優秀賞 各部門ごとに5名——計30名  
賞状と副賞

(4)学校奨励賞 各部門ごとに1校——計4校  
賞状と副賞

## 10. 入賞発表・表彰式(作文・図画両部門共通)

### 【全国コンクール】

(1)入賞発表 平成28年12月上旬

(2)表彰式 平成29年1月14日(土)

(入賞校、入賞者宛通知します。)

## 【山形県コンクール】

(1)入賞発表 平成29年1月下旬(予定)

(2)表彰式 平成29年2月上旬(予定)

(入賞校、入賞者宛通知します。)

## 11. 主催

農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会／全国農業協同組合中央会

## 12. 受付窓口および問合せ先

(1)県内の各JAを受付窓口とします。

(2)県段階は次にお問い合わせください。

〒990-0042

山形市七日町三丁目1番16号

山形県農業協同組合中央会(JA山形中央会)

農業農政部「作文・図画コンクール係」

(担当:山口)

T E L : 023-634-8114 FAX : 023-633-1754

## 作文1部

### ●山形県知事賞●

「ぼくの大好物ささみ」

米沢市立南部小学校3年

野川 裕太 さん

ぼくの大好物ささみ

米沢市立南部小学校 三年 野川 裕太

ぼくはささみが大好きです。ささみといぐで  
はもち米を二まいのささでくるみ、いぐで  
むすぶきょうう土料理です。ささみはおばあ  
ちゃんに教えてもらいました。さいしょは作

てもらつたのを食べるだけだ、たけど年中  
のところから教えてもらひながら自分で作る  
ようになりました。今年は山へ行つてささも  
とりました。

ささみ作りでもずかしいところは、いぐ  
ささみ作りでむずかしいところです。し  
ささみ作りにまづいと米がボロッとび出  
かりまきつけないと米がボロッとび出

てしまふからです。

次に、もち米をつぶんだささみを「はが  
ました。ま」という大きななべで一時間ほどゆでます。

そして木のぼりに一時間つるしこささみの  
出き上がりです。

一つ一つ手ごつんでいぐでまりこゆで

がかかる作業ようです。だからささみは、  
とてもおいしいのです。

ぼくはささみ入りのきなこをつけて食べる  
のも好きだけど、何もつけずにそのまま食べ  
る食べ方が一番おいしりと思います。なぜか  
というと開けるとささみのいいにおいがしこよ

米のうまいをあじわえるからです。

今ささみ作りをする家は少なくなく、こ  
るとおばあちゃんが言つていきました。ぼくは  
ささみ作りがなくならなりよう、自分で  
作れるようになつて、大人になつたときに子  
どもたちにつたえられるようにしたいです。  
そしてぼくは、お米を作つてくれるぼくが  
はあーおばあちゃんのお姉さん)とささみ  
を教えてくれたぼくのおばあちゃんにがんし  
やしてささみを食べ続けたいと思います。



みんなの  
よい食  
プロジェクト



つや姫  
TSUYAHIME